

みちのりグループの最近の取り組み

2025年7月7日

株式会社みちのりホールディングス
取締役会長 松本 順



ひたちBRT自動運転の特徴

- 国内最長距離のレベル4 運行（約6.1km）
- 一般的な中型バスとしては国内初
定員：56名（乗客着座27名）
- 2025年2月3日以降、平日毎日運行中。
運休なく運行を継続。

※2025.5末時点

5/16のみシステム設定変更のため手動運行

課題と提案

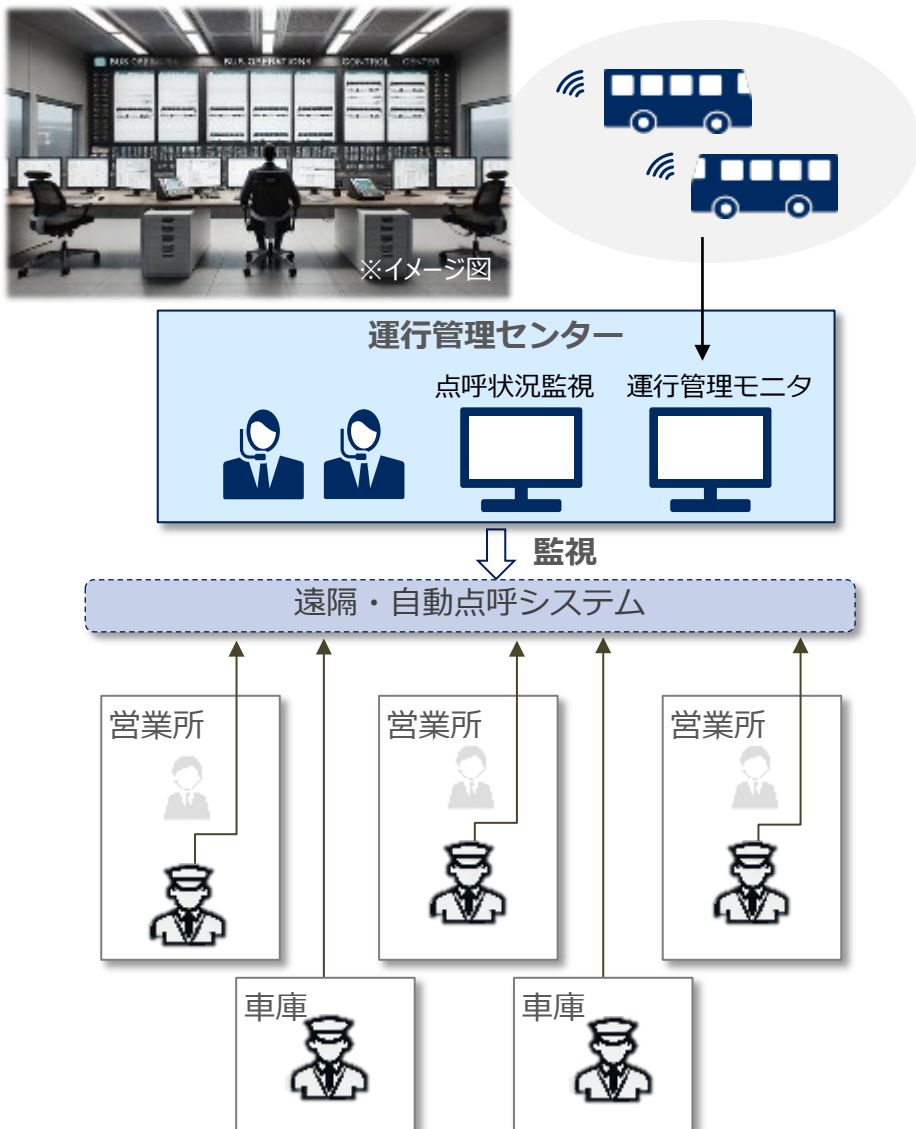
- 着座必須運行により乗車定員が減少
- 交差部および危険察知時に減速により、
所要時間増加

提案：鉄道と同様の制度整備



遠隔運行管理

- すべての運行管理業務を運行管理センターに集約



進む規制緩和

- 運転士に加え、運行管理者不足に対応し、国交省の制度整備により、「遠隔点呼」「自動点呼」「運行管理の受委託」が制度化。
- これらの制度により、営業所をまたいだ運行指示の集約が可能に。

実装の現状と将来構想

- 関東自動車（栃木県）において、「**運行管理センター**」新設した。全10営業所の運行管理を一元化予定。安全を確保しながら、生産性高く運行管理業務を遂行。
- 遠隔映像監視や、グループ内での事業者をまたいだ運行管理の集約を計画。

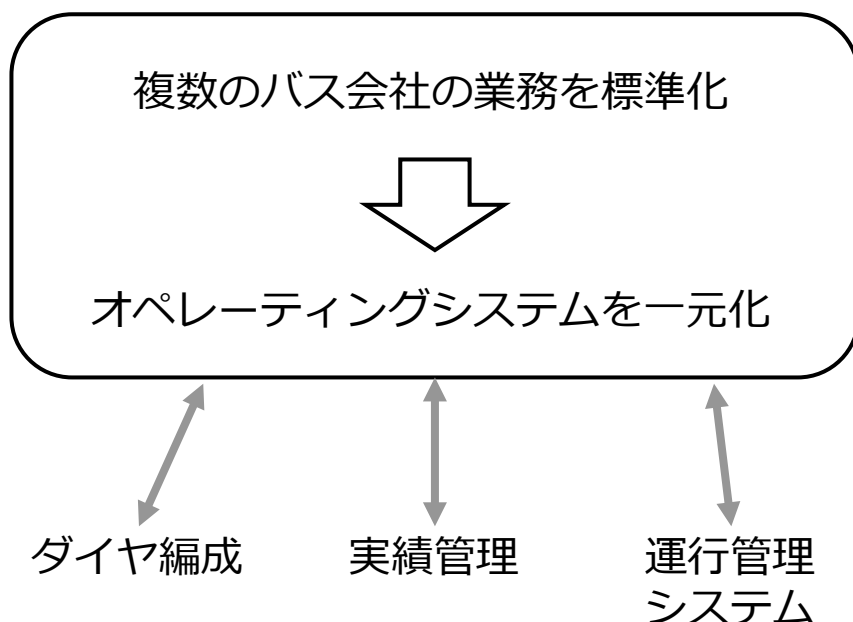
背景

- 業務手順が標準化されておらず、システム導入時に個別カスタマイズが必須。
- システム間の連携が困難で、データ活用やDX推進の大きな障壁となっている。

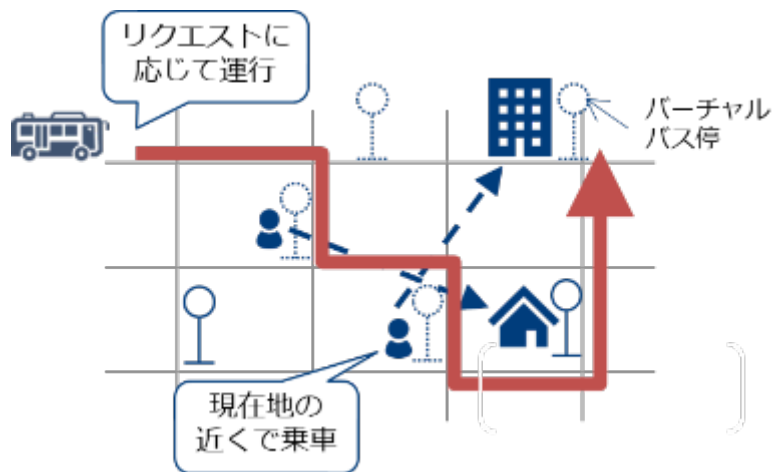
バス業務の標準化

- 業界と連携し、標準的な業務手順、システムアーキテクチャを策定する。
- 統一された業務手順・システム仕様により、システム間連携を容易にし、業界全体のDXを加速する。

バスDXプラットフォーム



AIオンデマンド交通（最適経路運行型路線バス）



生産性向上による交通空白化回避

- 路線バスよりも1台あたりの輸送人員増
リアルタイム
双方向コミュニケーション
どこでもバス停

みちのりグループでの導入実績

運行エリア		サービス名	都市人口
茨城県	高萩市	My Ride のるる	2.8万人
福島県	会津若松市	どこでもバス	11.7万人
	西会津町	こゆりちゃん号	0.6万人
	磐梯町	磐梯町オンデマンド交通	0.3万人
	石川町	おでかけミニバス	1.5万人
岩手県	九戸村	まさざねGO	0.5万人
	西和賀町	おでかけバス	0.5万人
	久慈市	のるのす	3.2万人

高萩のケース

- 朝夕は路線バス運行、
同じ車両で日中は
AIオンデマンド交通に切替え



- 従来の路線バスよりも利用者が増加

導入前（コロナ前）

導入後（25年5月）

平日

88人/日

108人/日

- 自治体による事業費全額支出